

令和 8 (2026) 年 度

学生募集要項

私費外国人留学生特別選抜

令和 7 (2025) 年 5 月



◎私費外国人留学生特別選抜試験関係日程

学 部	システム科学技術学部	生物資源科学部
出 願 期 間	令和 7（2025）年11月 5 日（水）～ 11月11日（火）午後 5 時必着	
試 験 期 日	令和 7（2025）年11月29日（土）	
合 格 者 発 表	令和 7（2025）年12月10日（水）午後 1 時予定	
入 学 手 続 期 限	令和 7（2025）年12月19日（金）午後 5 時必着	

※試験日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

目 次

I	秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等	1
	・システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
	・生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
II	私費外国人留学生特別選抜	4
	1 募集人員	4
	2 出願要件	4
	3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について	6
	4 出願期間および出願方法等	6
	5 選抜方法	10
	6 合格者発表	12
	7 入学手続・初年度納付金等	12
	8 授業料の減免、奨学金、後援会、学生寮について	13
	9 入学試験成績の開示	15
	10 個人情報の取扱いについて	15
	11 試験場案内	16

I 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標をもち、実現に向け思考し判断して行動し、その成果と課題を的確に表現する力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもって主体的に行動し、多様な人々と協働して学び続ける力をもっていること

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【順次性・体系性を重視したクサビ型カリキュラム】

専門の知識・技術およびそれらを活用する力と、グローバルな視点、幅広い教養と基礎的能力を育成するために、教養科目と専門教育科目の体系的な教育課程を編成する。その際、1年次から専門教育科目を配置するとともに、3・4年次においても教養科目が履修できるクサビ型カリキュラムを採用する。

【多様な教育方法による資質・能力の育成】

実践的な知識・技術、問題を発見し解決する力と創造力を育成するため、演習・実験・実習を重視した教育課程を編成するとともに、卒業研究を実施する。また、社会で必要となる協調性・責任感や生涯学習能力を育成するため、少人数による能動的な学修および多様な教育方法を組み合わせた授業を行う。

【単位制度の実質化と厳格な学修成果の評価】

登録単位数の上限設定を通して十分な学修時間を確保するとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいた成績評価を行う。

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、現代社会が直面する諸問題を解決することを目指して、以下の能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解・技術】

1. 各専門分野の知識・技術を習得し、活用する力を身につけている

【教養・基礎的能力】

2. 幅広い教養と、外国語能力、情報活用能力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を身につけている

【態度・志向性】

3. 多様な価値観を有する人々と倫理観・責任感をもって協働することができる
4. 時代の変化に主体的に対応するため継続的に学び、自律的に行動することができる

【問題発見・解決能力】

5. 専門の知識・技術および基礎的能力を統合し活用して、問題を発見し解決する能力を身につけている

【グローバル・創造的思考力】

6. 地域的・国際的視点をあわせもち、また、新たな価値を創造する力を身につけている

※このページの記載内容は全学のもので、学部、学科の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）については2・3ページで確認してください。また、学部、学科の詳細な教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については本学ホームページを参照してください。

システム科学技術学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

※注）システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

機 械 工 学 科	①機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ②ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	①数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ②メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	①数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ②情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ③自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	①基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ②建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	①経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ②社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

【入学者選抜の基本方針】

システム科学技術学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを、多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、公平かつ厳正に入学者を選抜します。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（各学部学科に求められる科目の基礎学力に関する試問を含む。）と小論文を行い、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）および大学の学習と学生生活に必要なレベルの日本語能力を評価し選抜します。

生物資源科学部入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

応 用 生 物 科 学 科	①生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②専門分野の知識や能力を高めることに對して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生 物 生 産 科 学 科	①植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ②植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人
生 物 環 境 科 学 科	①身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ②自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人 ③自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人
アグリビジネス学科	①生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人 ②次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人

【入学者選抜の基本方針】

生物資源科学部では、大学および学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）ならびに各学科の求める学生像に示された資質を備えているかを、多様な評価方法を組み合わせて総合的に判断し、公平かつ厳正に入学者を選抜します。

そのため、日本留学試験に加え、個別学力検査等として面接（各学部学科に求められる科目の基礎学力に関する試問を含む。）を行い、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（主体性・多様性・協働性）および大学の学習と学生生活に必要なレベルの日本語能力を評価し選抜します。

Ⅱ 私費外国人留学生特別選抜

1 募集人員

学部名	学科名	募集人員
システム科学技術学部	機械工学科	若干名
	知能メカトロニクス学科	若干名
	情報工学科	若干名
	建築環境システム学科	若干名
	経営システム工学科	若干名
生物資源科学部	応用生物科学科	若干名
	生物生産科学科	若干名
	生物環境科学科	若干名
	アグリビジネス学科	若干名

2 出願要件

次の (1) から (6) のすべてに該当する者

(1) 日本国籍を有しない者^{*1}

* 1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者および令和 8（2026）年 3 月卒業見込みの者、または同等以上の資格を得た者、もしくは日本の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者は、出願できません。

(2) 「出入国管理及び難民認定法」において、在留資格「留学」（または在日のまま「留学」へ変更できる在留資格）を有する者および取得できる見込みの者

(3) 次の①から⑧のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和 8（2026）年 3 月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者として文部科学大臣の指定した者^{*2}

* 2 次の(a)または(b)のいずれかの者

(a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、令和 8（2026）年 3 月31日までに18歳に達する者

(b) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定、またはこれに準ずるものに合格した者を含む。）で、文部科学大臣が指定した教育施設等において所定の課程を修了した者および令和 8（2026）年 3 月31日までに修了見込みの者

② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③ ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④ フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤ グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格またはインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

- ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- ⑦ 外国において文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者および令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧ 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で令和8（2026）年3月31日までに18歳に達する者
- ⑧により出願を希望する者は、次の期限までに本学の入学資格審査を受け認定され、他の出願要件のすべてに該当する場合のみ出願が認められます。申請方法など詳細については、本学ホームページを参照してください。

◎ 申請期限

令和7（2025）年10月1日（水）午後5時必着

◎ 申請先および問い合わせ先

秋田県立大学アドミッションチーム（秋田キャンパス）

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535

E-mail nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

- (4) 本学が次表に指定する日本留学試験（日本学生支援機構）を受験した者で各学部が定める科目の得点以上である者

対象：令和6（2024）年度（第1回または第2回）または令和7（2025）年度（第1回）のいずれかを受験した者

学部	日本留学試験の受験科目および得点条件	出題言語
システム科学技術学部	- 日本語（読解、聴解・聴読解）260点 - 理科（物理は必須、化学・生物から選択）110点 ※経営システム工学科は物理・化学（生物の選択は不可） - 数学（コース2）110点	日本語
生物資源科学部	- 日本語（読解、聴解・聴読解、記述）225点 - 理科（化学・生物）100点 - 数学（コース1）100点または数学（コース2）90点	日本語

注）日本留学試験を複数回受験している場合は、利用可能な実施回のうち、いずれか1回分の得点とします。出願後の変更は認めません。

- (5) システム科学技術学部においては、国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が運営する日本語能力試験「N1」または「N2」認定者であること、および英語を履修していること。
生物資源科学部においては、次の英語検定試験（令和5（2023）年11月29日以降に受験したもの）の①から④のいずれかを満たすこと。

①TOEIC（L&R）^{*1} 385点以上

②TOEFL iBT^{*2} 40点以上

③IELTS^{*3} バンドスコア 4 以上

④ケンブリッジ英検^{*4} 145点以上

* 1 「公開テスト」の受験成績に限ります。「TOEIC IP」、「TOEIC Bridge」の受験成績は利用できません。

* 2 「TOEFL iBT Home Edition」、「TOEFL ITP」の受験成績は利用できません。

* 3 「アカデミック・モジュール」のペーパー版またはコンピューター版の受験成績に限ります。

* 4 「リングスキル（4技能 CBT）」の受験成績は利用できません。

注）本学は日本語による講義のため、日本語能力試験 N2レベル相当以上が必要です。

- (6) 合格した場合には入学を確約できる者

3 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談してください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに後記「出願書類の提出先」へ提出してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に本学から連絡することがあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも提供されとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合についても、速やかに相談してください。

なお、事前相談したことにより、本学への出願が義務づけられるものではありません。

事前相談期限	令和7（2025）年10月24日（金）午後5時まで
--------	---------------------------

4 出願期間および出願方法等

(1) 出願期間

令和7（2025）年11月5日（水）午前9時から11月11日（火）午後5時必着

※ 受験を目的とした「短期滞在」ビザ取得のため、本学が定める出願期間前に出願を証明する書類が必要となる場合は、以下の期限までにメールにて申し出てください。

・ 申出期限 令和7（2025）年10月1日（水）午後5時まで

・ 申出先 秋田県立大学アドミッションチーム

メールアドレス nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

(2) 出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続きを行ってください。
- ② 本選抜には、郵送または持参による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします（土・日を除く。）。

(3) 入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

(4) 出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

【 国際スピード郵便（EMS）で郵送する場合の届け先 】

Name : Akita Prefectural University Admission Team

Address : 241-438 Kaidoubatanishi, Shimoshinjonakano, Akita City, Akita

Postal code : 010-0195

Country : JAPAN

TEL : +81 188721535 **FAX :** +81 188721670

(5) 出願書類

次の書類をすべて提出してください。

番号	書類名	摘要
1	入 学 志 願 票	インターネット出願ページから入学志願票（※「本人控え」は、入学志願票ではありません。）を印刷して提出してください。
2	日本の高等学校に相当する学校の卒業（修了）証明書および成績証明書等	※ すべての書類に日本語訳を添付してください。また、「写し」との指示がないものは、原本を提出してください。 A 出願要件 (3) ①に該当する者 ・修了証明書（または修了見込証明書）、成績証明書（日本の高等学校に相当する学校の全成績を記載したもの） B 出願要件 (3) ①(a)に該当する者 ・合格証明書、成績証明書 C 出願要件 (3) ①(b)に該当する者 ・日本の高等学校に相当する学校の修了証明書（認定試験合格者は合格証明書）、全成績を記載した成績証明書、日本の大学に入学するための準備教育を行う課程の修了証明書（または修了見込証明書）、成績証明書 D 出願要件 (3) ②に該当する者 ・国際バカロレア資格証書写しおよびその最終試験の成績証明書 E 出願要件 (3) ③に該当する者 ・一般的大学入学資格証明書写し。なお、成績証明書は、一般的大学入学資格証明書に記載されている成績をもって代えることができます。 F 出願要件 (3) ④に該当する者 ・バカロレア資格証書写しおよびバカロレア資格試験成績証明書 G 出願要件 (3) ⑤に該当する者 ・成績評価証明書写し H 出願要件 (3) ⑥に該当する者 ・ヨーロッパ・バカロレア資格証書写しおよびヨーロッパ・バカロレア成績証明書 I 出願要件 (3) ⑦に該当する者 ・当該課程の修了証明書（または修了見込証明書）、成績証明書および当該教育施設が上記評価団体から認定を受けていることが証明された証明書
3	日本留学試験受験票（写し可）	出願要件(4) に示す日本留学試験のうち、成績を利用する年度・回の受験票を提出してください。
4	日本語能力試験（JLPT）の成績証明書	システム科学技術学部に出願する者は、出願要件(5)を満たすことを確認するため、N1 または N2 の成績証明書を提出してください。

5	英語検定試験の成績証明書等	生物資源科学部に出席する者は、出席要件 (5) を満たすことを確認できる書類（令和 5（2023）年11月29日以降に受験したもの）を以下のとおり提出してください。 A TOEIC（L&R） OfficialScoreCertificate（公式認定証）の原本またはデジタル公式認定証の PDF を印刷したもの B TOEFL iBT TestTakerScoreReport（PDF を印刷したものを含む。） C IELTS TestReportForm（成績証明書）の原本または eTRF の PDF を印刷したもの D ケンブリッジ英検 認定証の原本または認定（結果）ステートメントの原本または PDF を印刷したもの
6	志望理由書	本学所定の様式を使用して800字程度で志望理由を日本語で記入し、提出してください。
7	住民票の写し	日本に在住している者は、市区町村が発行する住民票の写し（<u>在留資格、在留期間が明示されているもの</u>）を提出してください（コピーは不可）。 ※ 日本に在住していない者は、旅券（パスポート）の本人の氏名、生年月日、性別、国籍および日本国査証の部分の写しを提出してください。

(6) 出席上の注意事項

- ① 出席期間外に本学に届いたものは受理しません。
- ② 出席書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
 - ア 出席書類がそろっていないもの
 - イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ③ 出席受付後の出席事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出席書類の提出先」まで連絡してください。
- ④ 受験票は、出席書類受理後令和 7（2025）年11月19日（水）午後 9 時からインターネット出席ページにてダウンロードできるようになりますので印刷してください。
- ⑤ 外国から本学受験のために来日する者は、日本国への入国に必要なビザの取得に時間を要する場合がありますので、受験に間に合うように十分注意してください。
- ⑥ 入学を許可した後であっても、提出された出席書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 一度受理した出席書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	17,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	17,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【 返還請求方法 】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送 付 先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

送付期限：令和8（2026）年2月20日（金）午後5時必着

注）封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

5 選抜方法

システム科学技術学部

日本留学試験の成績（提出された受験票の受験年度・回の成績）、小論文および面接の結果を総合して判定します。

生物資源科学部

提出された英語検定試験の成績、日本留学試験の成績（提出された受験票の受験年度・回の成績）および面接の結果を総合して判定します。

(1) 試験期日、時間割

① 試験期日

令和7（2025）年11月29日（土）

② 時間割

学 部	試 験 項 目	時 間
システム科学技術学部	小論文	午前10時～午前11時30分
	面接	午後0時30分～（時間は指定します。）
生物資源科学部	面接	午後0時30分～（時間は指定します。）

(2) 試験場

① システム科学技術学部志願者

本荘キャンパス（由利本荘市）

② 生物資源科学部志願者

秋田キャンパス（秋田市）

(3) 面接の内容

① システム科学技術学部

面接では、志望理由書等の内容を踏まえ、学部、学科に対する興味関心、大学での学修や将

来への意欲などを評価します。また、理科・数学について口頭試問を行います。理科は物理基礎（経営システム工学科では物理基礎または化学基礎）の内容です。

② 生物資源科学部

面接では、志望理由書等の内容を踏まえ、学部・学科に対する興味関心、大学での学修や将来への意欲などを評価します。また、理科（化学基礎および生物基礎）について口頭試問を行います。

(4) 配 点

学部	英語 ^{*1}	日本留学試験の成績			小論文	面接	合計
		日本語 ^{*2}	理科 ^{*3}	数学 ^{*4}			
システム科学技術学部	—	100点	100点	100点	300点	400点	1,000点
生物資源科学部	100点	200点	100点	100点	—	500点	1,000点

* 1 提出された英語検定試験の成績を本学の定める方法で100点満点に換算し合否判定に利用します。

* 2 システム科学技術学部では「読解」・「聴解・聴読解」（100点）の成績を合否判定に利用します。
生物資源科学部では「読解」・「聴解・聴読解」（100点）、「記述」（100点）の成績を合否判定に利用します。

* 3 「理科」は、選択した2科目合計の成績を合否判定に利用します。

* 4 「数学」は、システム科学技術学部はコース2、生物資源科学部はコース1またはコース2の成績を合否判定に利用します。

(5) 受験上の注意事項

【システム科学技術学部受験者】

- ① 当日は、受験票、HBの鉛筆（シャープペンシル可）および消しゴムを必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要なもので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、小論文試験開始30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。また、面接の際は、指定時刻までに決められた面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 小論文試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間は延長はしません。
- ⑤ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑥ 原則として、途中退室は認めません。
- ⑦ 小論文試験、面接および本学が指定した日本留学試験の教科・科目のいずれか一つでも受験しなかった場合は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑧ 受験票は、小論文試験中には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑨ 小論文試験中に使用を許可するものは、HBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削りおよび時計（時計機能のみのもの。ウェアラブル端末や時計以外の機能の有無が判別しづらいものも使用できません。）に限ります。これら以外のものを使用した場合は、不正行為となることがあります。
- ⑩ 試験時間中に電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑪ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑫ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

【生物資源科学部受験者】

- ① 当日は、受験票を必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、面接試験開始30分前までに指定された面接控室に入室し、着席してください。
- ④ 面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- ⑤ 英語検定試験、面接および本学が指定した日本留学試験の教科・科目のいずれか一つでも受験しなかった場合は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 試験時間中に電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑦ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表日時

令和7（2025）年12月10日（水）午後1時予定

(2) 発表方法

本学ホームページに合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続・初年度納付金

(1) 入学手続

① 入学手続期限

令和7（2025）年12月19日（金）午後5時必着

② 入学手続方法

入学手続の詳細および必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

(2) 初年度納付金

① 入学料

ア	金 額	秋田県内の者	282,000円
		上記以外の者	423,000円

注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

- 一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者
- 三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

- イ 納付方法 合格通知書に同封する入学手続書類に従って、入学手続の際に納付してください。海外送金による入学料の納付については、詳細を合格通知書に同封するので、よく確認してください。納付に要する手数料は合格者の負担となります。納付期限の延長はできないので注意してください。

なお、本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付された入学料は返還しません。

② 授業料

ア 金 額 年額 535,800円

- イ 納付方法 前期（納付期限 4 月30日）、後期（同10月31日）の 2 回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

8 授業料の減免、奨学金、後援会、学生寮について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対する授業料の減免制度があります。

(2) 奨学金

留学生を対象とした日本学生支援機構等の奨学金についての詳細は、各団体のホームページを参照してください。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する在学特待生制度があります。本学在学学生（入学生特待生および1年生を除く。）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から選考し認定を受けた者を「在学特待生」と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

(4) 後援会

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職対策講座等への助成をしています。

後援会費は4年間で50,000円です。なお、合格通知書に後援会の入会案内および会費納入方法のお知らせを同封しますので、趣旨をご理解の上、入学手続と併せ、入会の手続をお願いします。

(5) 学生寮

① 概要

本学には、次のとおり生物資源科学部・研究科の学生を主な対象とした学生寮があります。

寮名	清新寮
収容人数	男子120名 女子120名
施設概要	鉄筋コンクリート7階建 男子2～4階 女子5～7階
居室形態	完全個室（風呂、トイレ共用） 冷暖房完備 フローリング6畳、ベッド台・机・クローゼット備付
寮費（月額）	50,000円 平日2食、土日祝日3食付 光熱水費含む
所在地	秋田県南秋田郡大潟村字南2-2 大潟キャンパス内 （秋田キャンパスからは30キロメートル程離れています。）

② 通学方法

学生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。（授業期間1日7往復、長期休暇期間1日2往復程度、いずれも平日のみ）。

シャトルバス以外の通学方法としては、南秋地域広域マイタウンバス（1日5往復程度）とJRを乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する書類は合格通知書送付の際に同封します。

募集人数については、各選抜区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選での選考となります。選考にあたっては、遠方から通学する方や経済的理由により入寮を希望する方を優先して入寮を許可します。詳細については、後記「学生寮に関する問い合わせ先」まで連絡してください。

結果については申請受付締切日以降、順次書面にてお知らせする予定です。

【学生寮に関する問い合わせ先】

秋田県立大学学生チーム（秋田キャンパス） TEL 018-872-1798

(6) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等を行っています。

(7) ノートパソコンの必携について

本学ではノートパソコンを必携としています。持参したノートパソコンは、各種授業での活用をはじめ、レポート等の作成、学習支援システム（manaba）の操作、履修登録や成績確認など、日常的な学習活動において幅広く利用しますので、入学までに準備してください。

なお、準備が必要となるノートパソコンの仕様については、改めて本学ホームページ等で周知しますが、すでに所有しているものが仕様に合致している場合は、新たに準備する必要はありません。また、経済的理由によりパソコンを購入できない場合は、本学から Windows ノートパソコンを貸与する制度があります。希望者は入学手続後に各キャンパスの教務チームに連絡してください。

9 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、本人に限って、口頭による簡易開示請求により、その場で閲覧することができます。ただし、合格者が10名に満たない学科については、不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に⑤に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

② 開示する情報

得点

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間（土・日を除く。）※受付時間：午前9時～午後5時

④ 開示場所

秋田県立大学 秋田キャンパス事務局

⑤ 問い合わせ先

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535

10 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。

- ・入学者選抜
- ・合格者発表
- ・入学手続
- ・次年度以降の学生募集

② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

③ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。

- ・教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
- ・学生支援関係業務（奨学金申請等）
- ・授業料徴収業務

④ 本学に出願した者および保護者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

11 試験場案内

【本荘キャンパス（システム科学技術学部）】

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2100 FAX 0184-27-2180

- ・秋田空港から車で約50分
- ・秋田駅から羽後本荘駅まで JR で約45分
- ・羽後本荘駅から車で約10分
- ・羽後本荘駅から徒歩で約30分

【秋田キャンパス（生物資源科学部）】

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅まで JR で約15分、追分駅から徒歩で約20分
- ・秋田駅から五城目線、追分線バスを利用してバス停「追分三叉路」まで約40分
- ・バス停「追分三叉路」から徒歩で約15分

出願、受験、その他の問い合わせ先

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

（右記の QR コードからアクセスできます。）

◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

